

発行所 日本赤十字新労組連合会 (略称「日赤新労」) 東京都港区西新橋3の14の5 Tel・東京434-7080 発行責任者 前川 功

綱領

- 1. われわれは、社会正義に立脚した良識ある労働運動を通じて、われわれの権利を守り、生活の安定と向上をはかる。
2. われわれは、常に暴力と独裁を排し、自由にして明朗なる民主的労働組合としての健全なる発展を期する。
3. われわれは、赤十字の民主化と近代化を促進することによつて、その人道的任務の達成に寄与する。

日赤新労ニュース

十一月二十三・二十四日

臨時中央委員会

湯ヶ原厚生年金会館

決意新たなる各中央委員

遅くとも十一月末までに、六・四％ベア斗争の焦点をもつてゆきたいと計画していた執行部も、本社社長を始めとする首脳陣の一ヶ月余にわたる歴々のため、本格的な開会が閉らげず、従つて拡大中央委員会も、先ん時期を待たせざるをえないことになつてしまつた。

【出席者】 (本部) 吉原、川出、前川、北村 佐藤 (中央委員) 久保田、吉田、竹田、原、加藤 川島、山田、宮原、服部、定久 山川、鶴田、大坪、宝蔵寺 以上敬称略



(一) 年末手当について 此処で本部より各中央委員に、今度の準備基準引き下げによる、各施設の収益の増減についての質問がなされ、各中央委員が全員自身病院の調査結果を詳細に説明。その結果、経営者の非常に努力して

の増加をみたという所が二、三あり、これからの日赤病院の運命は、一にかかつて経営者の能力にあり、その結果は益々厳格になり、あることを、如実に物語つてゐる。 続いて執行部より、提案の説明あり、質疑応答に入つた。主なる発言内容は如し。

○久保田・通達がでないの、病院側も本社通達なければ意味がないと云つては、できるだけ本部で早くきめてほしい。 ○定久・本協交渉には入っていない。本部の成果まちである。 ○山川・三〇割十五〇〇円要求。通達以上についてはこれからである。 ○原・三三割十五〇〇円要求。二五日に開会予定。

○山田・改めて新給与の割数にする。考へ方によつては、ベアを一月でもよいと認めたようになる。 ○加藤・未だ新給与体系でない。二本立てが必要でないか。 ○吉原・本部でもベアに全力を、そいでいるのは、いうまでもない。従つて年末手当要求といえども新給与の割数にした。 ○前川・新給与としたのは、年末手当の算定を十一月三日現在の職員とあるためである。 ○定久・二八割十二〇〇円を、少しでも吾々の要求に近づけるべく本社に交渉するのみである。 ○山川・通達以上をだせるよう施設長に絶対権限を認めよう。従つて今までの承認の仕方は余りに遅すぎる。 原議長提案で十分間休憩し、各プロツク毎に意見をとりまとめるよう指示。 ○休後、採決により三〇割十五〇〇円の線で再び本社に交渉することに決定。

(二) ベアについて ○久保田・本社では、いつも試算表をみて出来ないという。然し実際にやつては、同時同率をめぐらして是非争うべきだ。薬価基準問題は心配することなし。うちでは、返つて増収になる。 ○川出・本社交渉の中でも、やるだけはベアをやつてしまつて、それから後でゴタゴタを解決すればよいと、発言している経営者もいる。 ○吉原・中労委への行つて相談をして来た。要は吾々が、正しい進歩に向つて一致団結しているかどうかだ。 ○久保田・次回でベア交渉は終る。来月は出来るだけ開会を多くもて。 ○吉原・今年施設によつて非常に格差がめだつた。ある程度ベア可能な施設が、そつたら本社にはベアにふみざるべきである。という意見を耳にするが。 ○服部・鳥取の時やれる所から、きめたはずである。 ○山田・あくまで九月実施でゆくか、多少の弾力性をもたせるべきか。 ○山川・九月であくまで進むべきである。 ○原・九月繰でいき、その経過で後のことはきめればよい。 ○鶴田・やるとするならば、それだけの覚悟が必要である。 ○定久・支部と病院とについて、執行部の考へ方は。 ○吉原・本社交渉の際、支部と病院とを別に考へるべきであるとの話をきいたが、吾々とするならば新労組当初より、支部、病院の職員が一致団結してできたものである。新労の出来る前は病院と支部のベア等の時でも格差は、あつたことは事実だ。然し、これからは少くとも新労の存在するからには病院、支部を絶対に差別してはならない。 ○宝蔵寺・支部の中にも仕事に努力しない所は数ヶ所ある。従つて取捨は悪い。もしこれ等の処がベアに遅れたとしても仕方ないことだ。 ○吉原・中労委・スト権等の進め方について。 ○山川・中労委、スト権の問題勿論賛成である。五〇％位ベア可能

施設がでたら実施にふみきれ。 ○竹田・開会の経過を検討し、相場のつかまりをみてから、各単組へ動員をかけるなり、スト権確立なりをやらせよう。 ○服部・何回か階段をへた上でのスト権はやりやすい。各単組を動員し、座り込みをやるべきだ。その費用が本部に無ければ資金カンパも仕方ない。 本部からの動員要請については、全員の賛成を得る資金カンパも許さない。これについても全員賛成以上のような大体の線はこの臨時中央委員会決定し、久保田氏の提案により決議文を社長、各施設長、本社開会委員に出すこととする。

第三回 学習会議の成果あがる!!

九月二十二・二十三日 愛知県本宮山ロツジ

各単組よりのアンケートの結果、開催にふみきつた。日赤新労第三回学習会議は、去る九月二十二・二十三日と二日間開かれた。愛知県本宮山ロツジにて開かれた。 全国各地より多数の若人を集め、執行部との質疑応答も加わり、活気の裡に開会した。 【出席者】 敬称略 木崎、末広、石田、中野、林、神田、徳田、藤本、横井、古市、鈴木、桐生、藤田、井口、葛生、尾身、武田、白井、菅田、高橋、柏崎、中田、高田、安田、藤田、上遠野、海老沢、阿形、八木、工藤



22・23日の学習会議

此の度の学習会に参加された、皆様の感想文により次の様な結果がえられた。

- ①場所・交通・環境共に良好。
- ②現在の『労労状況について』の講演については、解かりやすく聞きづらいうという庄倒的な批判があった。
- ③『労労組合の必要性』及び『上野団体の関連性』という実野先生の講演は、内容・方法共に要領簡潔明瞭に話なされ好評であった。
- ④『働く者の権利と義務』のスピーチは、宮原氏の解説と相俟って非常に好評で中には単組から借し出し依頼があった程である。
- ⑤執行部との懇談会については、形式が少し固苦しく感ぜられたが、一般に新労をよく理解されたようである。
- ⑥その他多くの意見は、二日目に自己紹介をしたが、初日にこれをおこない、胸に名札をつけ、単組名・氏名を明記され、単組間の交流・融和のための懇談会を希望。記念撮影もほしい。定員制をやめ多数参加できるように。或は講演内容のプリントを配布するよう等々の希望が非常に多かった。要するに日程が短いのが原因の障です。少なくとも三日位を全員が希望された。

【結論】
初心者には単組・執行部が、労労法を教育し、中央学習会に参加されるのが望ましい。今回は初心者非常に多く、出席されたため、理解されにくいようであったが、本部は今月中堅層の中央学習会を行って予定。各単組執行部は今後の方針について検討された。最後に感想文を寄せられました皆様に、執行部より厚くお礼申し上げます。

『社長宛』署名簿

七、〇〇〇名突破(毛筆)

十一月四日、吉原委員長、川出副委員長、前川書記長の三名は、当日おこなわれた労協協賛会終了後、多忙な社長面会者の間をかいとくつて五分間だけという約束で社長に会うことに成功し、吾々の切なる公心のおかげで、吾々のツブを公務員と同時に実施するよう、署名簿と共に社長へその善処方を強く要望した。

決議文

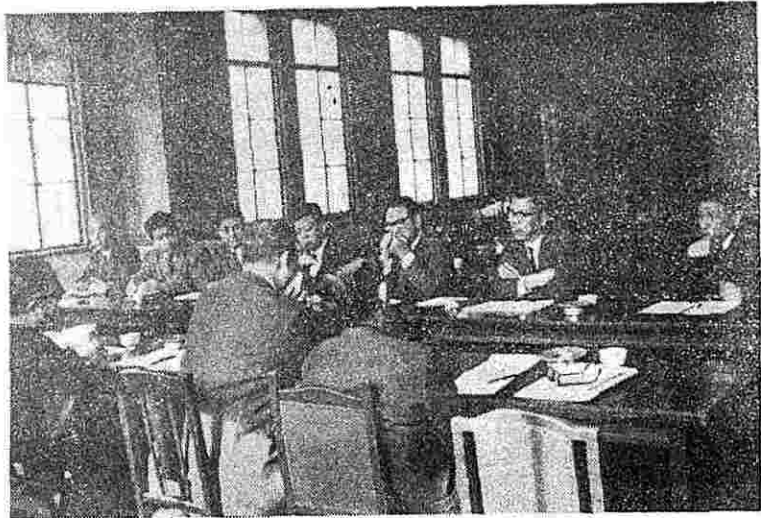
日本赤十字社は、公務員給与体系をとりながら、久しきに亘り給与改定が公務員より六ヶ月遅れて実施されてきた。前回の改定は漸く四ヶ月遅れて実施された。然し乍ら昨今の物価の高騰は甚だしく、これ以上給与改定の遅延は許されぬ。従って公務員と同時に給与改定を要求する。万一の要求が採り入れられなければ、我々日赤新労は、世論の支持を得られるあらゆる手段をもつて斗争ことを臨時中央委員会の名において決議する。

昭和四十年十一月二十四日

日赤新労 臨時中央委員会

第三回団体交渉

十一月十八日本社 於て以上の出席者をもって、第三回団体交渉を開催。議題及び内容は、(一)期末手当



十一月十八日午前十時より本社にて第三回団体交渉を開催。議題及び内容は、(一)期末手当

(組合側) 吉原、川出、前川、北村、小倉各氏
(本社側) 服部、北村、渡辺、高橋、市村、家村各氏
十一月十八日午前十時より本社にて第三回団体交渉を開催。議題及び内容は、(一)期末手当

十一月十八日午前十時より本社にて第三回団体交渉を開催。議題及び内容は、(一)期末手当

よつて毎年その支給率がきめられている状態である。その理由は兎に角として、これは否定できない事実である。本社においては悲愴の方面のみウエイトを置くことなく、十分新労の要求を織りこんだ通達を出すべきである。その通達はいつ頃出すつもりか。本社でできるだけ新労の要求をとり入れるよう努力を払い、十一月中に出す予定である。その内容については公務員の数字を参考にしないわけにはゆかない。

(六・四)パー

組合のこの問題については、去る十一月四日家族をも含めた日赤全職員の名を添えて社長宛要求書を提出し、悲愴なる吾々の要求を訴えたところであり、公務員と同時に同率ペアを実施するという切実なる要望は是非共実施すべきである。本社大體公務員に準じた給与改訂は実施しなくてはならないが、時期については到底不可能である。この問題は到底不可能である。組合のこの物価高による生活費の向上している際、公務員と同率ペアというものは、吾々の最低要求であり、又当然のことであるにもかかわらず只今の本社の発言を聞くことは誠に遺憾である。本社財政上の観点から、年末手当支給率のきめ方等とも関連性があるから、そのウエイトの置き方によっておのずから違ってくることも考えられると思う。

組合のこの問題については、去る十一月四日家族をも含めた日赤全職員の名を添えて社長宛要求書を提出し、悲愴なる吾々の要求を訴えたところであり、公務員と同時に同率ペアを実施するという切実なる要望は是非共実施すべきである。本社大體公務員に準じた給与改訂は実施しなくてはならないが、時期については到底不可能である。この問題は到底不可能である。組合のこの物価高による生活費の向上している際、公務員と同率ペアというものは、吾々の最低要求であり、又当然のことであるにもかかわらず只今の本社の発言を聞くことは誠に遺憾である。本社財政上の観点から、年末手当支給率のきめ方等とも関連性があるから、そのウエイトの置き方によっておのずから違ってくることも考えられると思う。



プロファイル

横山幸夫執行委員(浜松日赤)

二百余人の組合員を引きつれ、その先遣を一手に引き受け進みゆく、浜松日赤戦組・組合長横山幸夫。院内に於ては、理学診療科の、山と積れた仕事と取り組み、或る時は、レントゲン車に乗りこみ、仕事に打ち込む横山さん。片や浜松日赤戦組結成当初より、組合運動に参画し、キヤリアを買われて、組合長という重責を担い、又本年度より日赤新労執行部にあつては、本部執行委員として吉原委員長以下本部役員として、その責務を全うせんと超人の如くふるまう姿は、彼なればこそと、その心臓がわかれるのである。その心の強さの中にも、組合員の皆んなから「横山さん、横山さん」と愛称される程の温かさに、あふれた好人物である。浜松日赤戦組結成以来の下地をしみこませて第三代目組合長として常に広く内外に目をむけ、片手落ちのない様にと、その堂々たる体軀の中にも、緻密な心の配慮をもつて、事に当つては、何れとも兼ねて一人筆者的な面影を知らぬ。確信してやまないものである。

進めたいではないではないか。もし吾々のこの切実な要求を受けられない場合は憂慮する事態にならぬとも限らないので本社としてとではあまりにも情けない。吾々としては到底承服するわけにはよくわかつた。本社としても、前

地方便り

今年度大会で役員に異動のあつた単組をお知らせいたします。

盛岡赤十字病院
医療職員組合

執行委員長 加藤 達夫
副委員長 伊田 慶吉
書記長 久保田 慶吉
書記 小原 勝雄
書記次長 小原 勝雄
書記 田中 哲夫
執行委員 田中 哲夫
田中 哲夫
菊地 克雄
渡谷 あえ子
春日 尚子
石川 光子
齊藤 つよ
田中 弘子
阿部 紀美子
鈴木 直美
吉田 来司
多田 泰孔
菅野 柳子
会計監査 佐羽内 正子

原稿募集

ニユース掲載用として単組情報を書記局あてお寄せ下さい。